

あなたと議会をつなぐ

とういん 議会だより



令和3年7月2日

6月定例会 148号

発行 三重県東員町議会

一般質問の動画配信始めました▶

- コロナ関連補正予算 2
- 町政を問う 4
- 委員会活動報告 10



町議会HP
情報発信中

6月定例会

ルス感染症対策

1億2272万円の増額

○町内中小企業等でのキャッシュレス決済消費喚起事業（4178万円）

町内の中小企業（小売業、飲食業、サービス業など）でのキャッシュレス決済による消費者へのポイント還元を行うキャンペーンを実施する経費です。

還元率：30%、1回当たり付与上限3,000円相当・期間中の上限20,000円相当

主な質疑

問 キャッシュレス決済消費喚起事業の詳細を具体的に説明して下さい。

答（産業課長補佐）例えば1万円食事や買い物をした場合、スマートフォンなどのキャッシュレス決済で支払うと、3千円（30%）分のポイントが還元されるといふ事業です。

2万円を1度に支出したとしても還元額は30%の6千円分のポイントではなく3千円分のポイントです。還元上限は2万円です。想定しているのは、Pay Pay、auペイ、楽天ペイなどで、クレジットカードは対象外です。

○町内保育園・幼稚園及び小中学校の給食費無償化

子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、町内保育園・幼稚園および小・中学校の給食費を令和3年7月から令和4年1月まで無償になります。



楽しく給食を食べる園児たち（三和幼稚園・みなみ保育園）

6月定例会は6月1日から16日までの会期で開かれました。令和3年度一般会計補正予算や条例の一部改正など9議案を審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。

一般会計
補正予算

安全安心な 新型コロナウイルス

主な事業

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（230万円）

高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種を前倒しに行う体制確保の費用です。



ワクチン接種の準備を進める保健師

主な質疑

問 ワクチンの接種体制や補正予算の内容を教えてください。

答（健康長寿課長）現在と同規模で土曜日午前を予定している臨時集団接種の費用です。

○低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業（2682万円）

低所得の子育て世帯を支援するため、児童扶養手当を受給している世帯等（ひとり親世帯）やその他住民税非課税の子育て世帯（その他世帯）に給付金を児童1人あたり一律5万円を支給します。



主な質疑

問 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業実施にあたり、ひとり親家庭支援の課題や問題点を教えてください。

答（子ども家庭課長補佐）昨年につき、日常的に児童扶養手当の現況確認時などで困り感などを確認する中で、コロナ禍での遠方の親族の援助が受けづらいなどの意見が寄せられています。支援できることは対応しています。

その他事業

主な質疑

問 中学校施設整備費の詳細を教えてください。

答（教育総務課長）基本構想に沿った都市計画決定、認可に向けての基本計画図の作成を一級建築士にお願いする経費です。

問 農業振興対策事業補助金の対象機種を教えてください。

答（産業課長）対象になるのは、コンバイン、ロータリー、乾燥機などです。農家ごとに違う課題を解消するための機械です。

一般質問とは、町政財政全般について、町長の考えや疑問点を質す政策論議のことをいい、定例会のみ行われます。

一般質問

<p>1. 伊藤 治雄…………… 4 1. 医療及び関連事業の現状について</p>	<p>5. 中村 等…………… 6 1. 東員町の将来と総合計画について 2. 防災法改正と町の防災対応について</p>
<p>2. 広田 久男…………… 5 1. 東員町国土強靱化地域計画について 2. 生ゴミの減量化について 3. 河川や道路法面の草刈りについて</p>	<p>6. 川瀬 孝代…………… 7 1. 切れ目のない支援について 2. 自殺防止について</p>
<p>3. 大崎 昭一…………… 5 1. 第6次総合計画の政策具体化への町長の所信について 2. 第6次総合計画重点施策「稼げる町」「農業の振興」について</p>	<p>7. 片松 雅弘…………… 7 1. コロナ禍の中での東員町の対応について</p>
<p>4. 大谷 勝治…………… 6 1. 災害時のボランティア活動の拠点づくりについて 2. 地域おこしについて</p>	<p>一般質問の内容を動画で視聴できます。町ホームページの「東員町議会」から「録画動画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取りご覧ください。</p> 

Q. コロナウイルス対策状況は A. 順調に進んでいます



伊藤 治雄

問 現在、県内のコロナウイルス感染者数は北勢地域を中心に増加しており、憂慮できない状況と考えられます。そのような中、町のワクチン接種の取り組みは、おむね良好に推進されていますが、現時点での町の接種状況や方針・課題などについて伺います。

答 町長 ワクチン接種に関する国からの情報やワクチン配分状況も不確定な中、県内どこの市町より早く接種を開始し、町の接種割合は、1回目31.3%、2回目16%と、大きな混乱もなく順調に進んでいます。

高齢者向け接種終了後の一般接種については、国の方針が決まり次第、接種体制の再構築を検討します。今後も、接種予定や状況などができる限り情報発信し、安定した接種体制づくりに努めます。

現在、県内のコロナウイルス感染者数は北勢地域を中心に増加しており、憂慮できない状況と考えられます。そのような中、町のワクチン接種の取り組みは、おむね良好に推進されていますが、現時点での町の接種状況や方針・課題などについて伺います。

答 健康長寿課長 町では、接種計画に基づきワクチン接種を実施しており、6月上旬に65歳以上の方への通知発送を予定しています。接種を希望するすべての高齢者が7月末までに接種できるよう進めます。予約キャンセルについては、今後、一般住民向けの接種時には、新たなルールをつくり公表することを検討しています。

コロナ禍における要介護者や介護事業所も、継続したサービスを提供できており、大きな課題はないものと考えています。



新型コロナウイルスワクチン接種

Q. 木造住宅の耐震化対策は A. 戸別訪問による普及啓発に注力



ひろた
久男

問 人命にかかわる最大の危険リスクは巨大自然災害です。『東員町国土強靱化計画』では「直接死を最大限防ぐ」としていますが、木造住宅の耐震化対策への取り組みについて伺います。

答 建設課長 昭和56年5月以前に建築された約1300棟の木造住宅を対象とした耐震診断、耐震補強工事の促進に平成15年度から取り組んでおり、18年間で、耐震診断4771件、補強工事32件の補助金を交付しています。戸別訪問による普及啓発を繰り返し行い、耐震補強につながるような働きかけをしていきます。

生ごみの減量は

問 町内のごみの収集量は、平成25年頃より減少せずに横ばいで推移しています。

令和元年度実績では全ご

み量(約5千t)のうち約80%(4千t)は可燃ごみが占めています。減量化の取り組みについて伺います。

答 環境防災課長 可燃ごみのおよそ50%を占める生ごみの減量化に取り組んでいます。堆肥化容器や生ごみ処理機の購入補助の実績は延べ1900件、市民活動団体の「生ごみリサイクル思考の会」には310件の家庭が堆肥化に協力しています。

再質問(一問一答)

問 生ごみ減量化の取り組み成果はどれくらいですか。

答 環境防災課長 分からないので検討します。



ゴミ収集車の排出中

Q. 第6次計画の政策具体化は A. 町民主体のまちづくりを進めます



おおさき
昭一

問 「第6次東員町総合計画」に「誰一人取り残さない」「持続可能な世界」を目指すSDGsを位置づけましたが、その施策は何ですか。

答 町長 「持続可能なまち」であり続けるために、「自立」を掲げ、「稼げる町」を目指します。町が誇る三大文化事業に加え、ヴィアティン三重などのスポーツを加えた取り組みを進め、「健康活躍のまち東員町」を目指し、「誰一人取り残さない」町民が主役のまちづくりを進めます。

農業全般に支援を

問 町長は3月議会の施政方針演説で「ななほまれ事業は前へ進んでいない状況にある」「喜び農業や農福連携を含め、全体的に少しずつ前へ進める」と述べましたが、少しずつの真意は何ですか。農業全般への支援の具体策は何ですか。

答 町長 本町は都市近郊農業ですが、後継者不足、耕作放棄地の拡大を危惧しています。切り札の「ななほまれ」は、異常気象の影響で必要な成果が得られていません。課題解決のため、農業者や企業と新たな栽培方法に挑戦します。

また、民間主導で「TOONマメマチ協議会」を発足してもらいました。農業全般への支援は、地域農業再生協議会や農業委員会、農協などと行政が一体となつて、水田農業改革の取り組みを支援します。具体的には人・農地プランの作成を推進し、給付金などを活用して後継者育成を支援します。



町民がデザインしたパンフレット

Q. 災害時の活動と拠点は A. 協定を結びました



おたに
大谷
かつし
勝治

問 災害時のボランティア活動と拠点づくりについて伺います。

答 環境防災課長 東員町社会福祉協議会と災害ボランティアセンター設置・運営に関する協定を本年2月に締結しました。

地震や風水害による大規模な災害発生時、ボランティア活動による救援活動を町が要請し、社会福祉協議会はボランティアを受け入れるためのセンターを設置して、被災者へ速やかな支援活動を行います。

再質問（一問一答）

問 桑名市は日本赤十字地域奉仕団の設立を今年予定していますが、町の考え方を伺います。

答 環境防災課長 地域奉仕団の立ち上げなど、ボランティア活動について気運が高まるように努めます。

地域おこしは

問 地域おこしにつながる活動として、アサギマダラの里づくり、ホタルの保全活動、希少動植物など地域の人々が長年にわたって作り出してきました。活動に対する支援を伺います。

答 教育委員会事務局長 これらの活動は安定した地域づくりに貢献する文化資源です。今後も市民活動支援センターと連携を図りながら支援していきます。

再質問（一問一答）

問 中部公園にアサギマダラの里を作ってはごじですか。

答 副町長 具体的な計画・活動場所・維持管理者などが明確となったら協議します。



日本赤十字地域奉仕団

Q. 第6次東員町総合計画の実施は A. 皆さんとともに取り組みます



なかむら
中村
ひとし
等

問 今年3月に完成し、4月から実施の「第6次東員町総合計画」は平成23年の地方自治法改正により、行政だけでなく、地域のすべての主体が目標を共有する計画でなければならぬと考えますがどうですか。

答 政策課長 計画では、日本社会全体が直面する人口減少、急速な高齢化など、東員町を取り巻く大きな5つの課題を取り上げ、皆さんとともに、行政がやるべきことに全力で取り組みたいと考えています。

再質問（一問一答）

問 東員町の将来像は

答 町長 自治会も含めた地域の皆さんとともに、東員町の将来像を作り上げていきます。



防災対策は

問 改正災害対策基本法が今年の5月20日から施行されました。

答 環境防災課長 災害対策基本法が改正され、避難指示が一本化され、これまで同様避難指示が出された場合、安全な場所に避難していただきます。三和地区にお住まいの皆さんは、民間企業と避難場所提供の協定を結んでいますので、活用してください。

また「南海トラフ巨大地震」も将来必ず起きると言われているが防災はどうするのですか。

また「南海トラフ巨大地震」も将来必ず起きると言われているが防災はどうするのですか。

川瀬 孝代



Q. こころの体温計は A. 研究し検討していきます

問 新型コロナウイルス感染症拡大が続く中で、自殺者数が全国で増加しています。

要因は、コロナ禍の影響による経済的な困窮や外出自粛による不安やストレスが指摘されています。

自殺の背景には、うつ病を始めとするさまざまな精神疾患が関連するともいわれています。

うつ病の予防対策として、心の健康に関心を持つてもらうために、パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用して気軽にメンタルヘルスチェックができるシステム「こころの体温計」があります。「いかに見つけ、フォローし、つなげるか」というところに着目し開発されています。導入してはどうですか。

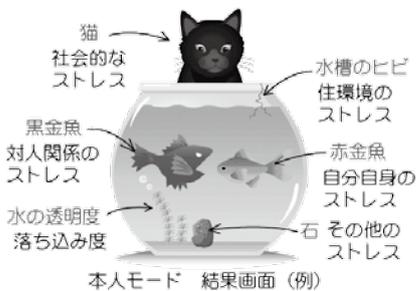
答

健康長寿課長

こころの不調は自分では気づきにくく、悩みを抱え込んでしまい、誰にも相談できずにいるケースも少なくありません。

こころの健康をチェックすることで、うつ状態など、こころの不調に自分自身で容易に気づくことができます。

こころの不調は、早めに専門機関につながり、治療をはじめることが大切と考えます。システムの有効性や費用対効果、導入後の気づきからつながりへの課題などを研究し、導入を検討していきます。



Q. 高齢者への接種状況は A. 現時点で31.3%です

片松 雅弘



問 4月から始まった高齢者からの新型コロナウイルス感染症予防集団接種は、スムーズに進んでいると聞きますが、現在の進行状況を伺います。

また、今後始まる若者世代の接種や基礎疾患を有する人への対応方法、感染拡大防止のための接種に関わる町職員や保育士への優先接種の考えを伺います。

健康長寿課長 6月1日時点で67歳以上の約7070人の方に対して接種券を送付し31.3%の方が1回目の接種を完了しています。7月末までに希望するすべての高齢者に2回目の接種を終えることを目指しています。

7月中旬以降「基礎疾患を有する方」「60歳から64歳の方」への接種、次に「一般の方」への接種と順次進めていきます。接種に係る町職員や子どもに接する保育士への接種については新たなルール作りを検討します。

再質問(一問一答)
新型コロナウイルスによる外出自粛・地域行事が軒並み中止となったため、社会とのつながりが希薄になり筋力や心身の活力が低下する状態になる「フレイル」が心配されていますが、町としての方針と今後の展望を伺います。

問 健康長寿課長 特にならぬ高齢者の方々の社会とのつながりが希薄になっていると感じています。今後は何もかも自粛するのではなく、感染リスクを避け「コロナ禍でも実施出来ること」を「コロナで考えていきます。

健康長寿課長 特にならぬ高齢者の方々の社会とのつながりが希薄になっていると感じています。今後は何もかも自粛するのではなく、感染リスクを避け「コロナ禍でも実施出来ること」を「コロナで考えていきます。



接種会場の保健福祉センター

各議員の賛否

○提出された議案は全会一致で可決○

審議結果	議案名
可	専決処分の承認を求めることについて
可	財産の取得について（塵芥収集車）
可	東員町町税条例の一部を改正する条例の制定について
可	三重県市町公平委員会を組織する地方公共団体の数の増加及び三重県市町公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について
可	令和3年度東員町一般会計補正予算（第1号）
可	東員町斎苑火葬炉等更新工事請負契約の締結について
可	東員町総合体育館アリーナ屋根改修工事請負契約の締結について
可	財産の取得について（電子黒板機能付き短焦点プロジェクター等購入）
可	令和3年度東員町一般会計補正予算（第2号）

政務活動費の使い道

政務活動費は、議員1人年間12万円が交付されています。

各議員は、1年分の収支報告書と領収書をすべて添付し、収支内訳書と研修報告書を4月末日までに議長に提出することになっています。

閲覧を希望される方は議会事務局までご連絡ください。

また、各議員の収支報告書などは町ホームページにも掲載しています。



項目	内 容	金額（円）
調査研究費	町の事務及び地方行政に関する調査研究並びに調査委託に要する経費（調査委託費など）	5,878
研 修 費	団体等が開催する研修会、講演会等への参加に要する経費（交通費、宿泊費など）	499,362
資料購入費	調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する経費（書籍購入代など）	740,131
広 報 費	議会活動及び町政に関する政策等の広報活動に要する経費（広報誌、報告書等印刷費など）	198,941
返 還 額		235,688
合 計		1,680,000

追跡

あの質問は どうなったんや？

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

Q 医療の予防支援に関し、胃がん予防対策はピロリ菌検査の効果が大きいと言われています。

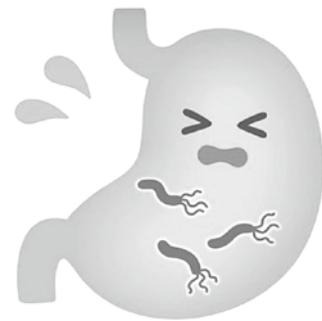
中学3年生を対象に学校検診の中で実施してはいかがでしょうか？

(令和2年12月議会)

A ピロリ菌はできるだけ若いうちに除菌することが大切とされ、中学生を対象として取り組む自治体もあります。十分な検証、国の指針などの動向を注視しながら実施について検討します。

こうなりました

令和3年度から中学3年生を対象として、胃がんなどの発症予防につなげるためのピロリ菌検査を実施することになりました。



*ピロリ菌とは胃がんや十二指腸潰瘍などの病気になる危険性がある菌です。

読者の声

議会だより(第147号)を読んで、たくさんのご感想を寄せていただきました。ご意見などについては、行政に伝えます。紙面の都合上、一部抜粋しました。

レイアウト変更や、反対／賛成討論、問／答の形式での記載も多くなり議論の内容が伝わってきて、とてもよい「議会だより」にアップデートされたと思います。

いつも、わかりやすい紙面ですが、一般質問のカラーページが新鮮でした。
答 今回は残念ですが予算の都合上、一般質問は白黒になりました。

議会の内容が良く解ります。

東員町産大豆が気になります。(豆腐・豆乳・おから、etc 大好物ですから)

本が好きなので毎回応募していますが、最近、なかなか当選しません。応募人数が増えたのでしょうか？

答 厳選なる抽選を実施しています。

長男が中学生である私にとって部活指導員の外部委託に関する質疑は大変興味深く、どのような人がいつから指導し始めるのか気になります。また、外部指導員が未だ確保できていない残り10部活は今後どうなっていくか気になりました。

総務建設常任委員会

●令和2年度事業の継続とコロナ禍における重要事項などを提言します。

(1) 行財政改革に伴う補助金などについて(継続)

- ・補助金、負担金、交付金及び当委員会が所管する委託料について精査します。

(2) 公共交通のあり方について(継続)

- ・「東員町地域公共交通計画」の考え方などを検証し、より良き交通手段を検討します。
- ・具体的交通手段(オレンジバス・デマンドタクシーなど)を関係所管課と協議・研究を行い可能な手法などを提言します。

(3) その他

- ・コロナウイルス感染症の状況を見て先進地視察を実施します。
- ・緊急を要する所管事項の検討を逐次実施します。
- ・地域コミュニティ応援プロジェクトの活動状況を研究します。



教育民生常任委員会

●委員任期2年目の活動は「高齢化に備えるための取り組み」と「住民の安心と福祉のまちづくり」に引き続き取り組んでいきます。

●コロナ禍での取り組みであることから、状況把握し活動計画に基づいて推進していきます。

認知症を学びました

4/26



認知症サポーター養成講座を受講しました。

社会福祉協議会から、社会福祉士を講師に「認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けをする」ための講義でした。

認知症は高齢化が進行する中で、誰もがなり得るといわれています。

認知症の人が安心して暮らせる地域づくりをするためには、偏見を持たずに温かく見守ることが大切になります。そのためには「認知症サポーターの活躍の場」を各地域に広げる住民主体の取り組みが必要になります。

委員会として、認知症サポーターを生かすために、先進地への研修など、調査事項として取り組んでいきたいと思っております。

議員全員協議会研修

5/17

「住民と歩む議会」の実現のために

講師：高沖 秀宣氏（自治体議会研修所代表）

議会では、本会議・委員会以外に、全員協議会、正副委員長会議などを実施しています。

コロナウイルス感染が深刻化した昨年来から、さまざまな視察や研修などが延期や中止になり、ようやく全議員で研修を行うことができました。

研修テーマは「地方議会の情報発信と住民参画」です。①住民代表として民意を反映させる議員であること②議会広報は住民に読まれるための工夫をし、議会への関心を高めるようにしないとイケないという内容でした。

議会は議論の場であることがよく分かるようにするために、議会広報誌と議会報告会を見直し、住民からの広聴を重要視すべきであることを学びました。

今後は、地域の幅広い年代のあらゆる立場の多様な意見を反映できる議会を目指して「住民と歩む議会」の実現に向けて努力していきます。



東員町最終処分場の拡張検討のための視察

5/20



最終処分場

東員町最終処分場の使用期限を延命するための拡張を検討するにあたり、東員町議会全員協議会で現地視察をしてきました。

拡張を行っても現在の町民から依頼の業者搬入を続けると、約10年の延命しかできないため、7月から「業者搬入を停止し、町民個人での搬入に限定する」ことにせざるを得ない、という現状を検分してきました。

東員第一中学校移転事業特別委員会

東員第一中学校移転事業計画について、当局からコンサルタント業務委託先の変更及び校舎建設用地の一部見直しなどについて説明がありました。

なお、これらの事情により当初予定されていた令和5年度開校が令和8年度へと延期になります。

次の世代を担う若者たちの安心で安全な施設建設と、健全で心身の向上に資する環境に配慮された教育施設の整備に向け真摯に議論を重ねます。

クイズ当選者

今回も多数のご応募をいただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

正解は
問1 86億8500万円
問2 1件
問3 10人

多数の正解者の中から抽選の結果、当選された15人の方に図書カードを贈呈します。

* 笹尾東 3	伊東 俊子様
* 鳥 取	岩田 哲也様
* 笹尾東 4	浅井 清治様
* 城山 2	隅田 由恵様
* 城山 1	中村 礼子様
* 笹尾西 1	垣上美奈子様
* 笹尾西 2	真野 裕美様
* 城山 1	城田 磨美様
* 笹尾西 4	宮田 全之様
* 笹尾西 1	勝川 得江様
* 城山 1	吉川 修様
* 笹尾東 3	仁井田多香男様
* 笹尾西 4	井上英子様
* 大 木	伊藤 雄様
* 笹尾東 4	山中 利幸様

まめまちカフェ

★日時 奇数月の第3木曜日 午後1時～3時

★会場 ふれあいセンター(申し込み不要)



まちの話題

可愛いお花が手作り花器に活かされた明るい会場

最近物忘れが気になる方・ご家族・地域の人・介護医療の専門家が参加して、懐かしい思い出の話をしていただく、楽しい場です。

一度のぞいてみませんか。お話を通じてつながりができますよ。

編集後記

コロナ感染症終息の突破
□「ワクチン接種」が順調に進んでいます。

昨年からのコロナ感染症は町内でも尊い人命を奪い、財産を破壊し、社会経済の仕組みに損害を与えています。

行政が危機対応にしっかりと取り組んでいる状況で、議会による政治の役割は、より重要となっています。

コロナ禍でやむなく議会報告会を延期していますが、報告会での意見交換や地域の皆さんとの対話の中でお聞きしたことを政策提言していく事が必要と考えます。議会に関心を今以上寄せただけのよう今年度から議会だより紙面の刷新を図っていますが、いかがでしょうか？

「住民と歩む」議会を目指すための『広聴』の重視を検討しています。

(山崎まゆみ)

議会広報常任委員会

委員長/三林 浩
副委員長/広田 久男
委員/片松 雅弘 大谷 勝治
山崎まゆみ 三宅 耕三

次回の定例会は
令和3年9月1日に
開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。